

神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会【NO. 26-10】 2026年3月27日発行

横浜市中区桜木町3-9 平和と労働会館6F TEL045-201-3900 FAX045-212-5745

後期高齢者医療保険料、年間1万4595円(13.71%)引き上げ!!

3月26日に横浜市中で、後期高齢者医療神奈川県広域連合協議会が開催されました。傍聴は、県社保協からの参加者など全体で14人。広域連合協議会は、3月と8月の2回開催され、議員定数20人。

今議会は、2026年度の保険料が提案され議決されました。神奈川県の次期の保険料は、所得割率が10.08%から10.30%(+0.22%)、均等割額が45,900円から52,531円(+6,631円)。2026年度から新たに、子ども子育て支援納付金分として、所得割率0.25%、均等割額1330円が賦課されることとなりました。

1人当たり保険料は、右表のように121,018円。前期比14,595円(13.71%)もの大幅引き上げとなりました。そのうち、子ども子育て支援の賦課額として2,910円も上乗せされることとなりました。厚労省の試算では、2027年度は年額約4,000円、2028年度は約5,000円になる計画です。

神奈川県広域連合では、保険料の上昇を抑制しようと剰余金93億円、広域連合と神奈川県による財政安定化基金12億円を投入(制度発足以来2回目の実施)しましたが、大幅な引き上げとなりました。

後期高齢者医療制度の発足当初、医療に要する費用(自己負担を除く)の10%を被保険者が保険料として支払うとしていましたが、前期は12.67%の負担率で、2026年度は13.27%の負担率と上昇しています。

県社保協提出の「子ども子育て支援分の負担軽減を求める陳情」不採択!!

広域連合協議会に、県社保協から「子ども子育て支援金制度の保険料負担が実質負担増とならないよう財政措置を求める意見書採択の陳情」を提出しました。

陳情は、議会運営委員会で審議し本会議に回されます。議会運営委員会は、「子ども子育て支援金は新年度に賦課されるもので実質的負担となるかどうかはまだわからない」などの詭弁を弄して全会一致で「不採択」とし本会議に提出しました。本会議では、白井正子議員(横浜市・日本共産党)が、「子ども家庭庁は、支援金の導入に当たっては、その裏側で社会保障の歳出改革を行い、社会保険料の負担を軽減させるため、支援金による負担は相殺される仕組みとなっているとしているが、後期高齢者医療の保険料軽減に直接つながる仕組みにはなっていない。「本広域連合が、県などとともに要望書を提出したことを踏まえ、国への意見書提出を求めているのだから、本議会も行動しようではありませんか」と訴えました。しかし採択では、白井正子議員と鈴木京子(大磯町議・日本共産党)以外の議員は不採択に賛成し、陳情は「不採択」となりました。

本会議では、白井議員が、物価高による高齢者の医療負担が増加している実態、受診控えなどの実態、保険料の滞納者が増加している実態などを質疑しました。鈴木議員は、広域連合協議会のあり方(議員定数の少なさ、3月末に開催されている問題など)について、健康診査に聴力検査を加えること、資格確認書の全員職権交付を継続することなど求めましたが、いずれも前進的な回答はありませんでした。他の議員からの質疑は一切なく閉会しました。

後期高齢者医療 神奈川県広域連合協議会



白井議員(中央)と傍聴参加者

神奈川県後期高齢者医療2026年度保険料(年額)

		2024~2025	2026年度	差額	1人当たり 増加額
		年度			
基礎賦課額	均等割	45,900円	52,531円	+6,631円	11,685円
	所得割	10.08%	10.30%	+0.22%	
子ども子育て 賦課額	均等割	-	1,330円	-	2,910円
	所得割	-	0.25%	-	
1人当たり 保険料		106,423円	121,018円		14,595円

「子ども子育て支援金」を医療保険料に上乗せするな!!

3月2日、中央社保協の子ども子育て支援金をめぐる子ども家庭庁と厚労省への要請行動に全国から19名が会場参加。神奈川県から、年金者組合、建設労連、社保協から4人参加。

子ども子育て支援金は、税金で賄うだけでなく、2026年度から健康保険料に賦課されます。神奈川県での国保では、年間3800円程度で月額322円平均。18歳までの子どもの均等割は減免で市町村によって額は違います。国の方針では、支援金は令和8年が約6000円、令和9年8000円としており、年々増える計画。

団体署名1243筆（個人含む）が提出され、そのうち神奈川県から355筆。京都社保協が呼びかけた個人署名は17481筆提出。そのうち神奈川の建設労連から13245筆。その後、41筆集約され、中央社保協を通じて子ども家庭庁と厚労省に提出しました。

「医療保険料に医療給付とは別の目的で上乗せすることは社会保険の原理から逸脱する。子育てのための財源は国の責任で行うべきだ」と訴えました。それに対し、子ども家庭庁は、「医療保険ルートで支援金を集められれば徴収コストを下げられる」、「社会保障の歳出改革を行い、社会保険料の負担を軽減させるので、支援金による負担は相殺される」などと説明しました。しかし、社会保険料の負担軽減は、高額療養費の自己負担上限引き上げやOTC類似薬の追加負担など、国民への新たな負担押し付けの上に成り立つものです。「負担が相殺されるというのは全くのまやかしだ」と反論しました。

子ども子育て支援金の保険料への上乗せが具体化されるにもかかわらず、負担軽減策が打たれておらず、相殺されているというのは事実ではないし、全く根拠がないと追及すると、「国会で決まったこと」、「法律で決まったことを4月からやっていく」との回答を繰り返しました。要請団は、「こども未来戦略」では「賃上げと歳出改革により実質的な負担は生じない」としており、改正法附則第47条においても明記されている。実質的な負担をなくすための改善策を直ちにとるよう要請しました。

4月から、医療保険への子ども子育て支援金の賦課が実施されますが、2027年度と2028年度の賦課額はさらに上がることから、負担軽減策を求める運動をすすめていきたいと考えています。今後の取り組みについては、改めて提起させていただきます。〈神建連社保対部NEWSより一部転載〉

3.2 子ども家庭庁・厚労省交渉



3.18 「薬代の追加負担反対」宣伝行動！！署名15筆集約

3月18日、伊勢佐木町有隣堂前で、4団体10人（保険医協会4（そのうち医師2）、建設国保3、自治労連1、県社保協2）参加で、OTC類似薬の追加負担に反対する宣伝行動を実施しました。チラシ・ティッシュ300配布、署名15集約。

OTC類似薬の追加負担を含む健保法一部改正法案が、4月から審議入りする見込みです。薬代の追加負担についてはほとんど知られていません。知らせる宣伝行動が重要です。

県社保協では、ストップ患者負担増請願署名と宣伝リーフ、それぞれ2万枚を取り寄せ、各団体に配布しています。リーフを活用して薬代の追加負担がされること、その内容を知らせ、署名を大きく広げましょう。また、薬代の追加負担についての学習会を具体化してください。県社保協、保険医協会や民医連などから講師を派遣します。

4月の税と社会保障改革反対の全県一斉宣伝行動では、消費税減税・インボイス制度廃止署名とともに、ストップ患者負担増請願署名に取り組みます。

次回の伊勢佐木町有隣堂前での宣伝行動は、4月30日（木）14:00～15:00実施する予定です。



神奈川から署名 14426 筆提出!!

3.18 介護署名提出行動

3月18日、介護署名提出集会在国会議員会館で開催され、神奈川県社保協として「介護保険制度抜本改善、大幅な処遇改善を求める請願署名」を8971筆提出しました。すでに提出した署名5455筆とあわせると14426筆を提出しました。全体では31万4751筆の提出です。

冒頭、神奈川県 社保協の根本 事務局長があいさつ。続けて、共同して活動している介護7



山添拓議員と辰巳孝太郎議員（中央）に署名提出

団体からの連帯挨拶として、21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会（21・老福連）の井上ひろみさんより「21・老福連が2025年の夏におこなった全国老人ホーム施設長アンケートの取り組みで、施設の経営悪化や担い手不足により、介護サービス提供体制がかつてない危機を迎えていることが明らかとなった。しかし、厚労省が進める生産性の向上やICT活用では人手不足の解決にはならない。また、処遇改善上位加算では、生産性の向上や職場の環境改善が要件となっているが、この加算は利用者にとってサービスは変わらないのに負担だけが増える、事業所にとっては要件が厳しく算定ができない事業所もあるという問題点がある。公費による処遇改善等を求めて一緒に運動を進めていきたい」との訴えがありました。

日本共産党・山添拓 参議院 議員、日本共産党・辰巳孝太郎衆議院議員 から連帯のあいさつ。千葉民医連の酒井剛気さんより訪問介護の現状報告と訴えがあり、「介護保険をめぐる情勢」として、全日本民医連の林泰則さんからミニ学習を受けました。引き続き制度改悪の中止、介護報酬の底上げ、大幅な処遇改善、国庫負担の引き上げによる制度の抜本改善を基本要求として実現を求めていく。2027年度介護報酬改定の審議、政府予算の編成作業も開始される。高市政権の大軍拡路線と全世代型社会保障改革に抗し、「ミサイルではなくケアを」の声を引き続きあげていきたい。重要なタイミングでの署名提出行動となる。一緒に現場の声を届けていきましょう」と結びました。最後に中央社保協の林信悟事務局長から行動提起があり、グループに分かれて国会議員要請行動に取り組みました。

この間、神奈川県社保協として獲得した介護署名の紹介議員は10人でしたが、衆議院選挙の結果、参議院の小池晃氏（日本共産党）と衆議院の早稲田ゆき氏（中道改革連合）、笠浩史氏（中道改革連合）の3人になってしまいました。神奈川からの参加者で新たな紹介議員のお願いに回ったところ、衆議院の畑野君枝氏（日本共産党）に紹介議員になっていただき、署名を届けました。〈民医連介護ウェブ2026 推進ニュースより一部転載〉

「税金の使われ方にもやもやする」と署名

3.24 各界連宣伝行動

消費税廃止神奈川県各界連絡会は3月24日、定例の宣伝行動を伊勢佐木町で行いました。5団体12人が参加し、署名40人分を集め、ティッシュ・チラシ200セットを配布しました。

全体的に人通りが少なかったですが、署名してくれた方から「がんばってください」と激励を受けたり、消費税減税を求める行動だと分かると急いで駆け寄ってきて署名に応じるフリーランスの方がいたり、物価高騰などによる負担をなんとか軽減したいと思っている市民が多いことが実感できる宣伝となりました。

以前、自営業だったという年配の男性とは、「オーガニック野菜の販売をやっていた」など対話になり、署名にも協力してくれました。宣伝に参加していた女性はたまたま通りかかった友人3人とばったり。友人らは、「税金の使われ方にもやもやする」「佐世保の米軍がイランに行くのはおかしい」と署名に協力してくれました。〈消費税廃止各界連運動推進ニュースより転載〉



◆4月22日（水）13:30～16:30 神奈川県社会保障学校を建設プラさ2F ホールで開催します。メイン講演は、伊藤周平氏（鹿児島大学）。社会保障とはなにかについてきちんと学ぶ機会が必要ということで、社会保障と社会保険制度の基本を2部構成で計2時間話していただきます。そのあと討論します。基本を学ぶ場です。多くの参加を期待しています。

◆5月17日（日）14:00～16:00 崎陽軒本店6F 会議室で、荻原博子さんをお呼びし、「高市政権でくらしはどうなる」と題する市民公開学習会を開催します。主催は「消費税ネット」です。多くの方の参加をお待ちしています。

社会保障と社会保険制度の基本を学ぶ

神奈川県社会保障学校 2026

時 4月22日(水) 13:30 開校 (13:00 開場)

★13:35～15:30<講演> そもそも社会保障とはなにか？

日本における社会保険制度とは？

★15:45～16:30<質疑・討論>

資料代
500円
(会場参加)



講師
伊藤周平さん
(鹿児島大学法文学部教授)

高市政権は、大軍拡を進める一方で、物価高に苦しむ国民生活防衛に有効な手を打たず、社会保障制度の公的責任縮小、自助・互助への変質の道に突きすすもうとしています。

そうしたもて、対抗できる社会保障運動を広げるためには、社会保障と社会保険制度の基本を学ぶ場が必要という声が上がりました。神奈川県社会保障学校2026は、その声にこたえ、学習講演を、神奈

川の年金裁判で原告側証人として陳述していただいた、鹿児島大学教授の伊藤周平さんをお願いしました。社会保障と社会保険制度の基本を学び、社会保障の切り捨て、縮小を許さない国民的運動への確信と展望をつかむ場にします。

所 建設プラザかながわ

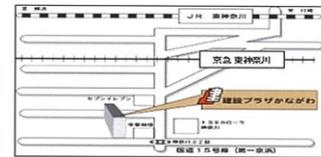
2階ホール+ZOOM視聴

ZOOM 視聴・接続情報

<https://x.gd/57820>



ZOOM 視聴される方は、当日接続してください。講演レジュメ・資料は、前日までにホームページにアップします。



- JR「東神奈川駅」下車徒歩 5 分
- 京急「東神奈川駅」下車徒歩 5 分

神奈川県社会保障推進協議会
〒231-0062 横浜市中央区桜木町 3-9
☎045-201-3900 FAX045-212-5745
info@kanagawa-shahokyou.jp
<https://kanagawa-shahokyou.jp>

～市民公開学習会～
消費税ネット主催

高市政権で くらしはどうなる？

～あなたの家計を守る
「処方箋」を伝授します～

参加費
無料



講師

経済ジャーナリスト
おぎわら ひろこ
荻原 博子 氏

プロフィール:1954年長野県生まれ。大学卒業後、経済事務所勤務を経て独立。複雑な経済の仕組みを、生活者の視点で分かりやすく解説する第一人者。付箋なしの鋭い切り口と、庶民の暮らしに寄り添った具体的なアドバイスに定評がある。著書に『投資なんか、おやめなさい』、『年金だけでも暮らせませす』など多数。

日時

5 / 17 日
14:00 ▶ 16:00 (13:40 開場)

定員

先着 250 名 お申込みはお早めに

お申込みは下記 URL
または二次元コードから

<https://x.gd/O68Q>

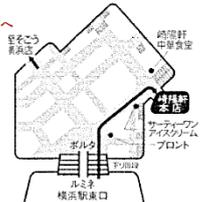


お申込みは
スマホで簡単！
二次元コードから

開催場所

崎陽軒本店 6階 会議室
(横浜市西区高島 2-13-12)

横浜駅東口地下街 地下街よりのご案内
「ボルト」直結！
エレベーターで6階へ



早期満席が
予想されます。
お申し込みは
お早めに！

2月の衆議院選挙では、自民党が議席の3分の2を獲得するという衝撃的な結果となりました。高市首相は責任ある積極財政としています。それによって、私たちのくらしはどうなるのか？ 大人気の経済ジャーナリスト「家計の主治医」荻原博子さんが、2026年の日本経済とあなたの財布の行方をズバリと解説！

【主催】消費税を含めた税のあり方を考えるネットワーク

【問い合わせ】5.17 学習会開催事務局 (神奈川県生協連 内)
☎ 045-473-1031

《4月の主な行動・会議日程》

- 4月1日(水) 税と社会保障一体改革反対・全県一斉宣伝行動(4月中)
中央社保協運営委員会&介護障碍部会 10:30 医療労働会館+ (ZOOM)
- 4月3日(金) 県社保協第10回常幹 14:00 建設プラザ3F 会議室+ (ZOOM)
- 4月7日(火) 全県一斉宣伝行動西湘地域キャラバン① 8:50 建設労連駐車場
- 4月9日(木) 子ども子育て支援金に関する学習会 13:00 神奈川県生協連会議室
- 4月10日(金) 最低賃金引上げビックアクション 8:00 桜木町駅前広場
県社保協第10回幹事会 14:00 保険医協会会議室+ (ZOOM)
消費税ネット世話人&事務局会議 18:30 保険医協会会議室+ (ZOOM)
- 4月11日(土) 映画「医の倫理と戦争」上映会&講演 15:00 保険医協会会議室
- 4月13日(月) 国民大運動実行委員会世話人団体会議 9:00 平和と労働会館4F 会議室+ (ZOOM)
- 4月14日(日) 県民要求連絡会事務局団体会議 13:00 県職労連会議室+ (ZOOM)
- 4月15日(月) 年金支給日宣伝
- 4月16日(木) 公開ミーティング「死刑と再審法を考える」 18:30 神商連4F ホール
- 4月17日(金) 全県一斉宣伝行動西湘地域キャラバン② 8:50 建設労連駐車場
- 4月18日(土) 認知症の人と家族の会神奈川県支部総会 14:00 横浜市健康福祉センター8F 会議室
- 4月19日(日) 茅ヶ崎社保協総会 13:30 茅ヶ崎民商会議室
- 4月20日(月) 消費税廃止各界連運営委員会 15:00 神商連会議室+ (ZOOM)
- 4月21日(火) 平塚地域社保協幹事会 10:00 医療生協かながわ平塚診療所会議室
- 4月22日(水) 神奈川国会行動 10:00 衆議院第二議員会館多目的会議室
神奈川県社会保障学校 2026 13:30 建設プラザ2F ホール+ (ZOOM)
- 4月24日(金) 消費税廃止各界連宣伝行動 14:00 伊勢佐木町有隣堂前
- 4月25日(土) 障神奈連総会
中央社保協・国保交流集会 13:30 医療労働会館2F 会議室
- 4月28日(火) 県社保協入用保険改善委員会 10:00 神商連会議室
- 4月30日(木) 薬代の追加負担反対宣伝行動 14:00 伊勢佐木町有隣堂前
- 5月1日(金) 第96回メーデー(県・横浜) 10:00 沢渡公園(県内6ヶ所)
- 5月3日(日) 5.3 県民のつどい(憲法集会・神奈川) 13:30 神奈川公会堂
2026 憲法大集会(憲法集会・中央) 11:00 有明防災公園